

【提出様式・CS校】 令和7年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立 西池袋中 学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
520	479	50	10

領域	豊島区教育ビジョン 2025 基本方針等	評価番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に向けた改善策										
				児童・生徒					保護者					地域					保+地					教職員					自己評価概要	学校関係者評価の意見	標語	
				4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	肯定的回答率	4	3		2	1								
II	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	II-1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。						257	132	8	2	0	5	2	0	0	0	97.5%	38	12	0	0	・小中連携を含め、地域交流イベントを毎学期実施した。(七夕、お祭り上げ、小中連携教育推進講演会、職場体験見学会、餅つき、交流展示、花火大会など)	・七夕、お祭り上げ、防災体験に園児や児童も参加してきている	A	・西池中ブロックの小学校との小中連携教育推進協議会において、9年間のつながりを意識した地域交流イベントを実施する。ゴミゼロデーの全校実施での活動を計画していく。					
I	学びに向かう力の育成	I-1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。						139	210	42	8	0	4	3	0	0	0	87.7%	32	17	1	0	・授業改善推進プランに基づき、ICTを活用して授業を計画した。年度当初よりタブレットが不足し、当初計画していた内容を変更しながら実施した。	・授業は実施されていると思う ・やっているのだからが具体的にわからない ・生徒の端末が不足しているというの困ると感じている ・スリジエなどの活躍をHPなどでも見ている	A	・日本語を母語としない生徒や、個別の配慮が必要な生徒の割合が年々増加している。ICTを活用しながら、個別最適な学習課題の解決学習を支援していく。 ・小中連携教育推進協議会を通して、9年間の学びのつながりを意識した学習スタンダードや生活スタンダードを共有し実施していく。					
		I-2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。						162	198	33	6	0	1	6	0	0	0	90.4%	31	12	6	1	・学力の基礎基本の定着のため、学びの内容を少数グループワークで発表し、学びあう場面を設けた。								
	豊かな心と人間関係の育成	I-3	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。						181	193	23	2	0	5	2	0	0	0	93.8%	29	19	2	0	・道徳地区公開講座では、メンタルトレーナーを招いた全校道徳を実施した。生徒同士お互いの考え方を知り愛するスキルを体験した。アンガーマネジメントに通ずる、平素の生活に生かせる気持ちのコントロール方法を学んだ。	・生徒が豊かに動くことが大切、ニシイは地域の力がすごいと感じている ・何かあったときにカウンセラーも入って指導されているということがわかった ・ラウンジで勉強したり、英語で教えあったりしていた、生徒が教える姿も素晴らしいと見ている	A	・次年度も、道徳地区公開講座では生徒が主体的にグループワークを通じた活動ができるよう計画する。また、SNSに関することや情報リテラシーに関する教科等横断的な学習を全学年対象に実施する。また、セーフティ教室でもSNSに関する内容を取り扱う。 ・道徳の授業だけではなく、全教育活動において生徒自身の道徳心を養えるよう努める。					
		I-4	学校は、生命を大切にしている態度や思いやり、優しい心を育てている。						178	189	29	3	0	3	4	0	0	0	92.1%	34	16	0	0	・コミュニティ・スクール委員を講師に、保護者と模擬授業体験を実施した。								
	健やかな生活を送るための体力づくり	I-5	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。						176	200	21	2	0	4	3	0	0	0	94.3%	31	17	2	0	・食育について、生徒が考案した献立給食を提供し、全校生徒へその解説を行うなど、給食を通じた食育を推進した。また、人気献立のレシピコーナー設置等、家庭での食育とも連携を図った。併せて、体力向上に関する情報を周知し、家庭における健康と体力向上啓発へ貢献した。	・民生委員など、地域交流イベント(もちつきなど)に地域の方も協力している	A	・次年度も、食育や体力向上に関する情報発信を行う。また、校内での取組を地域ご家庭へ周知するとともに、生徒の実態に併せて適切な指導を継続していく。					
I-6		学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。						221	154	23	1	0	5	2	0	0	0	94.1%	28	20	2	0										
III	多様な子どもに対する支援の充実	III-1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。						163	201	30	5	0	6	1	0	0	0	91.4%	44	5	1	0	・いじめ防止に対する学校全体の取組として公開授業やセーフティ教室の参観を実施した。 ・関係者のSNSトラブルのケアの一環として、スクールカウンセラーによる対象生徒全員面談を実施した。また、学校問題解決サポートセンターなど、外部の専門家の助言を仰ぎながら、生徒の個別対応を行った。	・セーフティスクールなど保護者参加者が多くないので、入学後の保護者会等、例年より強めの内容で保護者へ伝えてもよいと思う ・池3の事件の後など、西池の生徒への対応も丁寧にやってくれている ・おはようバナナの取り組みが、さらに発展してバナナカフェでの活動になっているのが良い。	A	・特別支援コーディネーターや生活指導主任を中心に、チーム学校として組織的な対応を継続していく。また、未然・早期対応のため、平素から生徒の情報を校内で共有する。 ・登校支援学級スリジエや特別支援学級、日本語教室、特別支援教室の理解を深め、交流活動を充実させていく。 ・小学校からの引継ぎの際に、生徒個々の生活環境や成育歴を鑑みて対応できるよう、小学校からや学年間の引継ぎを丁寧に実施していく。					
		III-2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。						160	194	38	7	0	5	2	0	0	0	88.9%	37	10	3	0									
		III-3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。						256	133	10	0	0	6	1	0	0	0	97.5%	39	11	0	0									
V	教師力の向上と魅力ある学校づくり	V-1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。						164	189	43	3	0	2	4	1	0	0	88.4%	28	19	3	0	・保護者アンケートでは、多くの項目で肯定的な回答をいただいた。土曜授業などの保護者アンケートのご意見要望を参考に、学校行事等の改善改善に務めた。 ・コミュニティ・スクール委員と情報共有し、校務改善に務めた。	・生徒が自分で学びあう学校で望ましい学校像を見ることができた ・コミュニティスクールとして学校が抱えている課題を一緒に考えていくことにCSの意義があると思っている	A	・次年度も、コミュニティ・スクール委員の方々の定期会議を通して、地域の方々や保護者と連携し、より良い学校運営に務める。					
		V-2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。						182	194	19	4	0	3	4	0	0	0	94.3%	36	14	0	0									
	家庭・地域との連携	V-3	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。						236	153	9	1	0	4	3	0	0	0	97.5%	37	13	0	0	・前年度と比較し、地域交流イベントなど学校行事の学校HPへの掲載記事数を増やした。 ・「すぐる」にて出欠確認や、情報配信、アンケート調査を行うことで、ペーパーレス化や集計業務のスリム化を実施した。 ・コミュニティ・スクールとして、定期的にCS会議を実施した。また、地域交流イベントの企画運営を実施した。	・HPを拝見している ・場所を提供してくれたら、活動をサポートできる団体や協力できることがある ・職場体験などで協力できる部分があるので言ってほしい ・CS会議で、報告いただいているので様子がわかる ・ジャンプなど地域の団体にも守秘義務があるので、安心して頼っていただけだと思う	A	・HPや「すぐる」を活用して、地域・保護者へ情報発信を継続していく。今年度同様、適切な情報発信を行い、保護者が学校の現状や取組を把握できるよう開かれた学校運営を実践していく。 ・アンケートや各種調査については、「すぐる」の利用を推進し、ペーパーレス化と集計業務の効率化を推進する。 ・次年度も、コミュニティ・スクールとして、地域の方々の協力を得ながら地域交流イベントの企画運営を行う。					
		V-4	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。						200	180	16	3	0	3	4	0	0	0	95.3%	35	14	1	0									
		V-5	学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築している。						215	167	16	1	0	7	0	0	0	0	95.8%	39	10	1	0									
特色ある教育活動	V-6	学校は、「やさしく つよく」わくわくする学校への取り組みに関する教育を推進している。						141	219	37	2	0	7	0	0	0	0	90.4%	36	14	0	0	・東京都「笑顔と学びのプロジェクト」20周年記念フェスティバルなど、生徒が主体的に「やさしく つよく」わくわくする学校への取り組みを推進した。	・挨拶、笑顔にあふれている。外部の人にも大きな声で笑顔で挨拶してくれ、他の中学校ではなかなかない。 ・周年式典、記念フェスよかった	A	・次年度も東京都「笑顔と学びのプロジェクト」への参加を目指し、生徒が主体となる特別活動を全校体制で実施する。						
IV	働き方改革	IV-1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。																	24	21	5	0	・スマート時程の継続に加え、長期休業中のリモートワークの導入や、「すぐる」やClassroomを活用した校務のDX化やペーパーレス化を推進した。	・西池中の先生方が連携して動いてくださっている、何かできることがあれば協力したいと思う ・先生の働き方が大変だという認識がある	A	・職員同士で話し合った働き方改革について、次年度のコミュニティ・スクールにおいて校務のスリム化について検討する。					

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある